

駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関する
障害当事者団体・鉄道事業者・国土交通省の意見交換会
(第2回)

令和2年12月21日(月) 13:00~15:00

中央合同庁舎2号館 共用会議室 3A・3B

議 事 次 第

1. 開会

2. 出席者紹介

3. 議事

- (1) 鉄道事業者の無人駅等に係る取組等
- (2) 意見交換等

4. 閉会

〔配付資料一覧〕

議事次第

出席者名簿

資料1 鉄道事業者の無人駅等に係る取組等

資料2 乗務員による介助を実施している事例

参考資料集

駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関する
障害当事者団体・鉄道事業者・国土交通省の意見交換会（第2回）

出席者名簿

【障害当事者団体】

社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合 常務理事	橋井 正喜
社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合 情報部長	三宅 隆
一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事	吉野 幸代
認定NPO法人 DPI日本会議 事務局長	佐藤 聡
全国自立生活センター協議会 副代表	今村 登
社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 事務局次長	佐藤 加奈

【鉄道事業者】

北海道旅客鉄道（株）鉄道事業本部 駅業務部 部長	橋場 康人
東日本旅客鉄道（株）執行役員 営業部長	高橋 弘行
東海旅客鉄道（株）営業本部 副本部長	榊原 篤
西日本旅客鉄道（株）鉄道本部 駅業務部長	佐伯 祥一
四国旅客鉄道（株）常務取締役 営業部長	藤本 聡
九州旅客鉄道（株）営業部長	上符 友則
東武鉄道（株）鉄道事業本部 営業統括部長	池田 直人
西武鉄道（株）執行役員 鉄道本部 運輸部長	石橋 憲司
京成電鉄（株）鉄道本部 運輸部長	延命 誠
京王電鉄（株）鉄道営業部 旅客サービス課長	杉浦 昌平
小田急電鉄（株）執行役員 旅客営業部長	細谷 和一郎
東急電鉄（株）常務執行役員 鉄道事業本部副事業本部長 兼 運輸計画部統括部長	富田 秀樹
京浜急行電鉄（株）鉄道本部 運輸営業部長	久保 由樹
東京地下鉄（株）鉄道本部 営業部長	榎本 進
相模鉄道（株）常務取締役 営業部長	鈴木 正宗
名古屋鉄道（株）鉄道事業本部 計画部長	名倉 緒
近畿日本鉄道（株）鉄道本部 企画統括部 営業企画部長	小野 昌輝
南海電気鉄道（株）鉄道営業本部 副本部長 兼 運輸部長	岡嶋 信行
京阪電気鉄道（株）営業推進部 部長	近野 薫
阪急電鉄（株）都市交通事業本部 運輸部長	毛利 裕明
阪神電気鉄道（株）都市交通事業本部 運輸部長	上田 晋也
西日本鉄道（株）鉄道事業本部 取締役執行役員 副本部長 兼 営業企画部長	松藤 悟
一般社団法人 日本民営鉄道協会 運輸調整部長	滝澤 広明

【国土交通省】

大臣官房審議官（鉄道）	木村 典央
鉄道局 総務課 鉄道サービス政策室長	森高 龍平
鉄道局 都市鉄道政策課長	金指 和彦
鉄道局 技術企画課長	岸谷 克己
鉄道局 安全監理官	森 信哉

（事務局 鉄道局総務課鉄道サービス政策室）

鉄道事業者の 無人駅等に係る取組等

鉄道局鉄道サービス政策室

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等①

1. 各社における無人駅の運営について

(1) 駅における要員の配置について

① 無人化する際の事前説明の相手先、対応方法

- **地元自治体【各社】**
- 駅周辺の支援学校【JR東海、JR西日本、名鉄、近鉄、京阪】
- 周辺の福祉施設等【JR西日本、東武、近鉄】
- 地元障害者団体【JR西日本、JR九州、近鉄、西鉄】
- 消防、警察【近鉄、西鉄】
- 定期的に利用される障害者ご本人【JR東海、名鉄、近鉄、西鉄】
- ご協力いただける自治体では市報に掲載【JR東日本】
- 自治体主催の住民説明会で説明【JR九州】

② 無人駅における要員巡回の方法、最新技術を活用した遠隔監視の方法等

【巡回】

- **事前連絡やご来訪に応じて適宜対応するほか、管理駅社員が定期的に巡回【各社】**
- 毎日一定時間常駐し、常駐時間帯を明示【東武、西鉄】
- 派遣対応専門の要員を配置【名鉄、近鉄】

【技術等】

- 窓口休止時間中は、駅遠隔操作システムにより対応しつつ、必要に応じ事務室の駅係員が対応【JR東日本】
- 遠隔放送装置による案内【JR東日本、JR東海、JR西日本】
- 遠隔監視・制御の実施【JR東海、JR九州、京成、小田急、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄、民鉄協(静鉄)】
- 白杖検知システムの実証実験【近鉄】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等②

③ 運転手や車掌、簡易委託職員、警備員等による介助の実施の例

- 車両又はホームに携帯型スロープを設置し、乗務員が対応【民鉄協(水間・伊予鉄・熊電)】
- 緊急時等には乗務員がホーム上のスロープ板等を使用して対応【南海、京阪、阪神、西鉄、民鉄協(静鉄)】
- 原則、社員による対応だが、社外の方による介助事例あり【JR北海道】
- 警備員が対応【JR東日本、東武、西武、京王、小田急、メトロ、相鉄、近鉄】
- 退職者、再雇用者の活用【小田急、相鉄】
- グループ会社に業務委託【JR東日本、JR東海、JR九州】
- 自治体に業務委託【JR九州】

④ 巡回や遠隔監視の実施について、地元の障害当事者団体等の意見を踏まえて工夫している事例

- 地元盲学校と連携して、乗客同士の声かけや見守りをお願いする放送を実施【JR西日本】
- 地元盲学校と意見交換の上、通学時間帯の駅巡回を強化【JR九州】
- 地元盲学校・知的障害者支援学校の要望を踏まえ、下校時間帯にホーム上に駅員を配置【京王】
- 地元学校の授業時間等にあわせて駅員を配置【近鉄】
- 地元自治体や障害者の意見を参考にモニター付きインターホンを設置【JR東海、南海、阪神】
- 日々ご利用いただく方の利用時間帯に合わせて駅員を配置【京阪】
- 障害者団体の意見を踏まえ、電車の利用方法に関するポスターを改善【西鉄】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等③

(2) 鉄道利用時の事前連絡について

① 事前連絡の期限の設定について

- 各社、事前連絡の期限は設けていない。
※ 無人駅のない事業者は事前連絡のお願い自体をしていない場合が多い。

② 事前連絡の案内の方法

- 事前連絡の期限は設けていないが、介助要員の手配などでお待たせせず、スムーズにご利用いただくために、事前連絡へのご協力をお願いしている。
※ 無人駅のない事業者は事前連絡のお願い自体をしていない場合が多い。

③ 事前連絡がない場合の対応方法

- 各社、事前連絡がなくても対応。
※ ただし、要員手配やバリアフリー設備の状況により、お待たせしたり、乗車列車や乗降駅の変更をお願いする場合がある。

④ 待ち時間短縮の工夫

- 介助要員の到着までお待ちいただくのが原則だが、希望があれば車掌室前にてお待ちいただき、スロープ板が無い状態で車掌のお手伝いのもと乗車いただく。【小田急】
- 無人駅への派遣対応の専門要員を拠点駅に配置【名鉄】
- 介助要員の手配が困難な場合は、ホーム上のスロープ板を使用して乗務員が対応【南海】
- 介助要員の到着までお待ちいただくのが原則だが、車いす利用者については、ホーム上やワンマン車両内に一部スロープ板を設置しているため、乗務員によるサポートが可能【西鉄】
- 全車両に携帯型スロープを搭載し、乗務員が対応【民鉄協(熊電)】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等④

(3) 駅の利用に制約を設けていることについて

① 駅が無人であることのみをもって当該駅ではなく、隣接駅等を案内するなどの運用の有無

- 各社とも駅が無人であることのみをもって駅の利用を制限する取扱いは行っていない。

② 駅の構造上の理由等から当該駅ではなく、隣接駅等を案内するなどの運用の有無

- 無人駅を有する複数の事業者において、改札からホームまでの行き来が跨線橋のみでエレベーターやスロープの設置がない場合など、構造上車椅子のご利用が出来ない場合は、バリアフリー設備の整った隣接駅のご案内や迂回乗車のご案内を行う場合がある。

③ 障害者の駅の利用に極力制約を与えないように工夫している事例

- 各社ともバリアフリー法に基づいて、駅の施設や設備などのバリアフリー化整備を進めるとともに、障害をお持ちのご利用者に対して適切な対応を行うよう教育訓練を実施している。
- 最寄駅の学校や障害者団体と連携し、駅の設備体験や意見交換会を実施。また介助士資格の取得時に障害者の方々と意見交換会を実施【JR西日本】
- 主要駅、乗換駅へのサポート要員配置のほか、有人無人を問わず、声かけサポート運動の拡充を視野に「AIカメラ（障害をお持ちのお客様を検知し、アラーム等で駅係員に知らせる）」の試験導入等を検討。【相鉄】
- 櫛状ゴム等によりホームと車両の隙間について一部解消することを検討【南海】
- フルサポート対応機能付き券売機にサポートセンターとの会話用インターホン（券面確認用カメラ付き）を全駅設置【京阪】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等⑤

(4) 駅務機器の位置がわからないことについて

① インターホンの位置や券売機の位置などがわかるように工夫している事例

- 多くの事業者において券売機への点状ブロックによる誘導を実施、券売機への点字シールの貼付
- 触知案内板による券売機等の位置のお知らせ【JR西日本他】
- 音声案内装置によるインターホン位置のお知らせ【JR東日本】
- 自動券売機など駅務機器の設置場所を確認できるようHPに駅構内図を掲出【京成他】
- 「shikAI」の設置、「ことばでわかる駅情報」の活用【メトロ】
- 大学生による学生ボランティア活動との連携【メトロ】
- テレビ電話機能を活用した「よびだしインターホン」については、常時音声案内を行ったり、呼び出し用ボタンを点滅させたりすることで、目や耳の不自由なお客様に設置場所をお知らせ【阪急】
- インターホン等の位置について、離れた場所からでもわかるよう大きく表示。これらの表示については障害者団体からのご意見を参考にユニバーサルフォントで作成【西鉄】

② 列車の停車位置や開閉ボタンの位置などがわかるように工夫している事例

- 個別ドアスイッチ設置車両では、降車中は車外、発車後と到着前に車内にドア開閉スイッチ操作について音声案内を実施【東武】
- 列車の扉位置を知らせる誘導鈴を車両側に順次設置している【京阪】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等⑥

③駅の利用方法などの研修会や説明会の実施状況

- ホームの構造や万一転落時の対応をテーマとした盲導犬ユーザー対象の体験訓練に協力【JR北海道、東武】
- 券売機や改札機の操作等を体験する駅体験学習を一部の駅で実施【JR東日本、南海】
- 学校等の依頼を受け駅の利用方法等に関する説明を実施【JR東海】
- 最寄駅の学校や障害者団体と連携し、駅の設備体験や意見交換会を実施。また介助士資格の取得時に障害者の方々と意見交換会を実施【JR西日本】
- 関係団体を対象に年間数回程度、定期的に駅設備等の案内を実施【JR四国】
- 駅の見学、周辺学校の駅での職場体験、視覚障害者団体の視察等を通じ駅の利用方法を説明【JR九州】
- 白杖をお持ちのお客様が通勤などにご利用される前に、数日間の駅構内歩行訓練の依頼を受けた際は積極的に協力【東武】
- 3年に1度盲学校の学生にホーム下に降りていただくなどの体験会を実施【西武】
- 車椅子の電車利用訓練を積極的に受け入れ、電車を円滑に利用できるよう、エレベーター、駅務機器、サイン表示の確認を実施【小田急、阪急】
- 支援センター等や学校が開催する同行支援訓練への協力【京急、相鉄、名鉄】
- 盲学校と連携して総合研修訓練センターを活用して鉄道施設体験学習会を実施【メトロ】
- 盲学校等に定期的に訪問し駅の利用方法について案内資料を配付【阪急】

(5)情報アクセスについて

①聴覚障害者への情報提供に関する基本的な対応方法

- 複数の事業者においてウェブサイトにより運行情報や列車位置情報などの情報提供を実施するほか、発車標、電光掲示板を使用して情報提供を実施
- タブレットや手帳を用いた筆談対応【JR西日本】
- タブレットに手話通訳の3者間通話サービスアプリを搭載【JR東海、西武】
- スマホアプリ「おもてなしガイド」による情報提供【京急】
- QRコードによる情報提供の実施【東武、西武、京成、東急、西鉄】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等⑦

②輸送障害発生時の情報提供について、文字による情報提供の実施状況

- 複数の事業者において(5)①による情報提供とともにツイッターやウェブサイトによる情報提供を実施
- 一部の駅においてお客様案内モニターを設置し、輸送障害発生時には近隣の有人駅で作成した文字による運行情報を提供【JR北海道】
- 時刻表や運行情報を確認できるサイトのQRコードを掲載したポスターを常に掲出しているほか、輸送障害の内容を記載した文字情報とQRコードを記載した掲示物で情報提供を実施【東武】

③異常時等の文字情報の提供のために工夫している取り組み

- お客様案内モニターの無人駅への設置の検討【JR北海道】
- 音声も出力されるデジタルサイネージの設置拡大【JR四国】
- 名刺サイズのQRコードを係員が携帯し、必要なお客様に配布【JR東海、小田急】
- 案内情報に赤字・太字・点滅等の装飾を施すことで目につきやすい案内を実施し、駅頭掲示では案内情報のうち路線名等、案内事項が確定しているものは事前にマグネットで準備し、手書きで記載する項目を最小限とすることで見やすい案内に心がけている【メトロ】
- 大規模災害時にはモニターをNHKの緊急災害放送に切り替えることが可能【JR東日本、JR東海、京阪】

④車内等における観光に係る情報提供の取り組み

- 車内テロップや車内ディスプレイ、車内放送により観光案内を実施【JR西日本、小田急、近鉄、南海、阪急】
- 観光列車において列車の案内ホームページにつながるQRコードが記載されたカードを配布【JR東日本】
- 駅でのパンフレットをQRコードによりお手元のモバイルで表示する等、ウェブにおいて充実化の方向で検討【京阪】
- 沿線市町村の観光案内パンフレットを駅、車内に掲出【阪急、民鉄協(熊電)】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等⑧

(6) 声かけ・見守りの実施

① 声かけ・見守りの取り組みの内容について

- 普段より、駅員から積極的に声かけを行い、構内・車内放送によりお客様への声かけサポートの周知を実施。本人が誘導案内を希望しない場合であっても、可能な限り乗車するまで見守りを実施。毎年、鉄道事業者や障害者団体等と「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンを全国規模で展開し、さらに、地域毎には個別の取組も実施。
- 所沢市と連携し「駅ボランティア」の募集・体験会の実施、埼玉県と連携し「駅ホーム声かけサポート講習会の実施」【東武、西武】
- 駅係員が近郊の小学校・幼稚園・保育園等に出向き、啓発活動を実施。【相鉄】
- 沿線の小中学校の安全教室で、声かけや点字タイルなどの施設の重要性を伝えている。【東武、南海】
- 毎週木曜日、利用者の多い駅、並びにバスセンターにおいて、本社職員を中心に「あいさつ運動」として、ご利用のお客様に対しての挨拶を行う際に、視覚障害者等、障害をお持ちの方や高齢者へ声掛け、見守りを実施。【民鉄協（熊電）】

② 声かけ・見守りのアナウンスの場所、頻度について

- お客様のご利用が多い朝・夕の通勤・通学時間帯を中心に適宜放送
- 駅構内放送を定期的実施。強化キャンペーン期間中は車内放送も適宜実施
- 駅で1時間に1度一斉放送を実施【西武、メトロ】
- 全駅で15分毎の自動放送を実施【京阪】
- 自動放送は、概ね40分に1回程度放送【阪急】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等⑨

③声かけ・見守りが適切に行われるよう工夫している事例について

- 社内の勉強会やサービス介助士資格取得時等に様々な機会でも、声かけ・見守りの重要性を教育。研修カリキュラム等において、障害のある方とのディスカッションを実施【JR西日本】
- 駅社員を対象とした「バリアフリー講習会」(社外講師(障害当事者や障害者支援団体の方)を招き、障害の内容によりどのようなサポートが必要かの学習や、視覚障害・肢体不自由の疑似体験)を北海道運輸局と共催で毎年実施【JR北海道】
- 現場に本社社員が直接出向いて声かけサポート運動の重要性について意見交換を行う、キャラバンを実施【JR東日本】
- 視覚障害者団体の方をお招きして、駅務・乗務・技術職・一般管理社員を対象に、実際の車両や駅設備を利用したご案内方法の研修を実施【京成】
- 健常者を対象に「駅ボランティア講習会」(講習受講者が駅利用の際にお困りのお客さまを見つけた時の介助方法などを多摩市の多摩市社会福祉協議会の協力を得て実施(年1回開催))を実施【京王】
- 駅社員を対象に「視覚障がいをお持ちのお客さまご案内方講習会」(盲導犬を帯同されている方、白杖を使用されている方へのお声かけ・ご案内方その他、視覚障害をお持ちの方の駅ホーム歩行の際の体験談など共有する会)を実施(年2回開催)【京王】
- 一部駅にハンズフリー型インカムを導入し、改札口・ホーム・駅事務室間の情報共有を迅速に行い、安全確保のための連携を図っている。【東京メトロ】
- 恒常的に利用される障害をお持ちの方がご利用になる時間帯・区間等を把握し、係員間で情報共有を図っている。【阪神】

鉄道事業者の無人駅等に係る取組等⑩

2. 前回意見交換会を踏まえた改善事項等について

- 災害時における障害者のお客様に対する声かけ等働きかけのアナウンスの実施を検討【JR四国】
- コロナウイルス感染症対策の影響で声かけの件数が減っている実情や聴覚障害者の方への周囲の旅客の協力を求める放送等、ソフト面ですぐに対応できそうな事例については現業長会議で共有した。【西武】
- 災害時における聴覚障害のあるお客様への働きかけ方法については検討していきたい。【京成】
- 災害時における聴覚障害者に対する声かけなど、働きかけのアナウンスについては、今後実施する予定【西鉄】
- SoundUDの活用に向けた検討を開始した。【東武】
- 埼玉県との連携により実施した声掛けサポート講習会について、今後、沿線自治体と連携し同様の講習会を実施することを検討中【東武】
- 運転士等乗務員による渡り板を用いた介助の実施が出来るようになると、お待ちすることなく自由に電車をご利用出来るようになるので、今後の課題。【小田急】
- 11月14日に南海本線松ノ浜駅の所在する泉大津市と共に現状確認と意見交換を実施。【南海】
 - ※現状における改善等を研究。
 - ・改札口案内モニターの設置状況の確認と改善策の検討
 - ・トイレ内の照明整備の調整
- 「お声かけ・見守り」ご協力についての駅構内放送の実施を確認し、実施回数を見直しを図った。【京阪】

鉄道事業者が駅の無人化等要員配置の見直しを行う理由(鉄道事業者からのヒアリング結果)

■ 各社とも、安心・安全な輸送の確保に配慮しつつも、以下のような理由で路線維持のために無人化等の要員配置の見直しを行っている状況。

- 少子高齢化による人口減少に伴い、利用者数の減少が見込まれる。
- また、大量の定年退職者が発生する中、少子高齢化により労働者市場の競争が激化し、労働力の確保が困難となることが見込まれる。
- このような環境の中、限られた財源・人的資源で、安全・安定輸送の確保を大前提としつつ、現在の鉄道ネットワークや輸送サービスを維持していく必要があることから、やむを得ず、駅の要員配置の見直しを実施している状況。

乗務員による介助を実施している事例(各事業者よりヒアリング)

資料 2

	水間鉄道	伊予鉄道	熊本電気鉄道
路線名、キロ程、駅数	水間線 5.5km 10駅	高浜線 9.4km 10駅 横河原線 13.2km 14駅 郡中線 11.3km 11駅	菊池線 10.8km 16駅 藤崎線 2.3km 2駅
改札～ホームまでの段差解消状況	全駅でホームまでの段差解消済み(一部、基準に満たない勾配あり)	35駅中29駅で段差解消済み	全駅で段差解消済み(一部、基準に満たない勾配あり)
一編成の車両数(扉数)	2両(1両当り3扉)	2～3両(1両当り3扉) ラッシュ時4両(一部)	2両(1両当り3扉又は4扉)
乗務員	運転士のみ	運転士、車掌	運転士のみ
運行本数(ラッシュ/日中)	1時間あたり3本/2本	各路線1時間あたり4本/4本	1時間あたり4本/2本
事前連絡の要否	不要	不要	不要
運賃精算の方法	一部の駅を除き車内精算	駅の改札口	一部の駅を除き車内精算
スロープ板の設置場所(車内・駅等)	乗務員室内(前後)	段差解消済みの29駅のホーム(利用の多い駅は2枚設置)	乗務員室内(前後)
乗務員による付き添いの範囲	車両とホーム間の乗降まで	車両とホーム間の乗降まで	車両とホーム間の乗降まで
乗務員が介助に係る時間	1分程度	1分程度	1分程度
利用に際しての障害者側の条件の有無	特になし	特になし	特になし
対応の頻度	週に数件程度	1日10件程度	週に数件程度

乗務員による介助の様子
(熊本電気鉄道の例)



※写真使用許諾済み

参考資料集

駅係員の滞在時間を掲示している例(東武鉄道)

ご案内
Information

渡瀬駅
Watarase Station

当駅では9:40~11:00まで係員が駅構内に滞在しております。
ご不明な点がございましたら「インターホン」にてお問い合わせください。

**回数券・定期券
窓口発売
について**

当駅では発売はしていません。
「乗降車駅証明書」をお取りのうえ、**館林駅・東武佐野駅**でお求めください。
なお、発売時間は **始発列車 ~ 21:00**

**乗降車駅
証明書
について**

次の場合は、乗降車駅証明書発行機より「乗降車駅証明書」をお持ちのうえ、有人駅にてお申出ください。

- (1) 駅係員が不在の際に、ICカード乗車券をタッチして赤く光ったとき。
- (2) きっぷを発売していないとき。
- (3) その他、乗車・降車の証明を必要とするとき。

インターホンのご案内 連絡先 東武佐野駅 電話番号 0283-22-4970

駅係員が不在の際は、おそれいりますが、**お問い合わせ・事故** その他 **緊急** の場合、**インターホン**か上記の駅までご連絡いただけますようお願いいたします。

改札口見守りシステム（近畿日本鉄道）

参考資料2

- 改札口付近のカメラ映像をAIが解析し、**白杖をお持ちのお客さま、車椅子をご使用のお客さま**を自動的に検知します。
- 検知結果は専用パソコンとパトライトにより、音・光・映像で**駅務室内の係員に通知**します。
- 駅係員が他の業務中でも**お客さまの来駅に気づきやすく**することで、**お客さまにより安心して安全にご利用いただける駅**を目指します。



検知カメラ



通知用パソコン・パトライト



通知用パソコンの画面（白杖検知時の様子）

※AI技術（ディープラーニング）の性質上、検知漏れや誤検知が発生することがあります。

※白杖をお持ちのお客さま、車椅子をご使用のお客さまに対する駅係員からのお声かけを約束するものではありません。

よびだしインターホンについて

2020年12月21日

阪急電鉄株式会社 運輸部

1.聴覚障がい者の方への対応



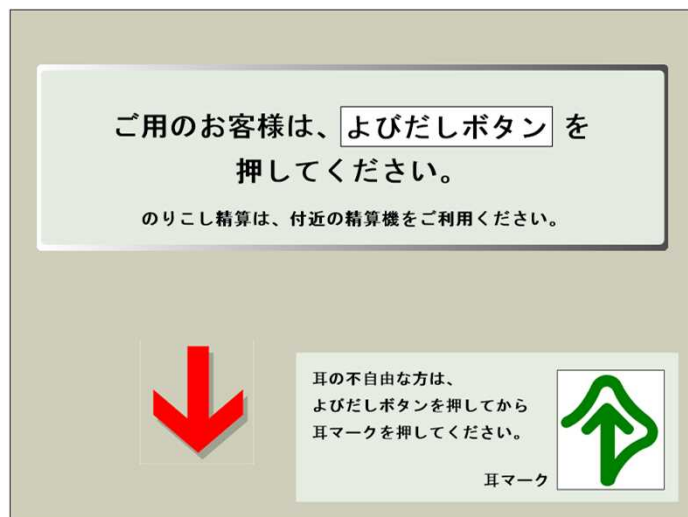
「よびだしボタン」を点滅させることで、耳の不自なお客様にも、インターホンの存在に気づいていただきやすくしている

1.聴覚障がい者の方への対応

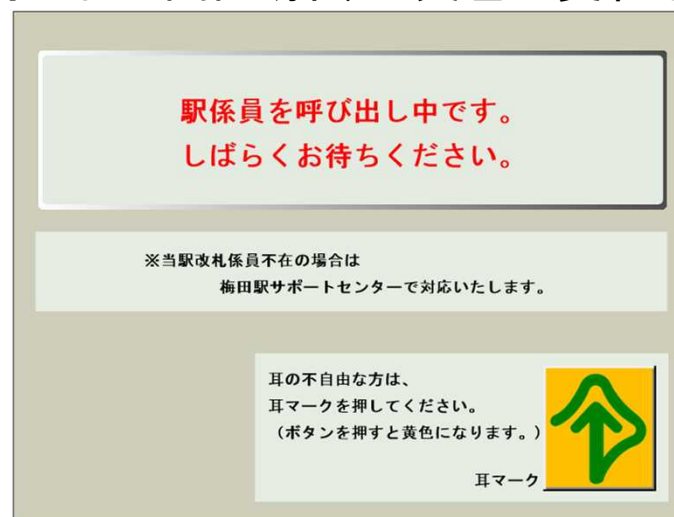


1.聴覚障がい者の方への対応

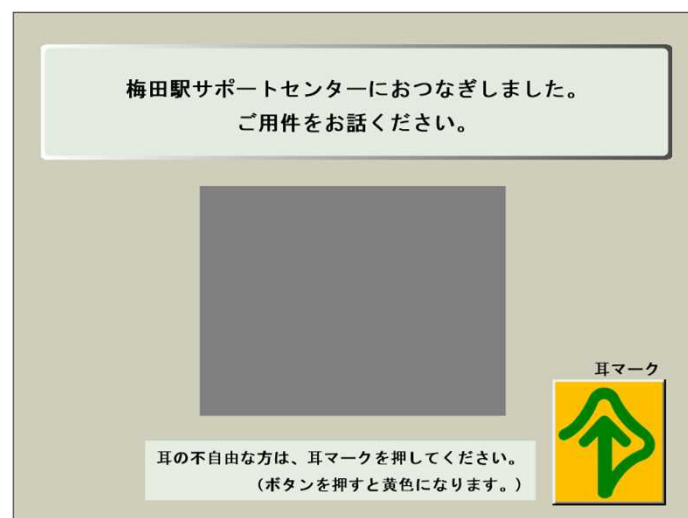
待機中画面



呼び出し画面(押すと黄色に変わる)



通話中画面



- ・耳の不自由な方にご利用いただける「インターホン」であることを示す。
- ・係員が、お客様が耳が不自由であることに気付かず、お客様に不快な思いをお掛けすることを、少しでも防ぐ。
- ・「耳マーク」が押下された場合は、テレビ電話機能を活用して筆談で対応する。³⁻⁴

2.視覚障がい者への対応

視覚障害者誘導用ブロックでの案内(誘導)に加えて、よびだしインターホン本体のスピーカーから下記の音声案内を実施している。

(よびだしインターホンは各改札口の内・外に設置。)

【鳴動時間帯】

終日

【鳴動間隔】

早朝・深夜時間帯:40秒、昼間時間帯:30秒 (参考:盲導鈴は20秒間隔)

早朝・深夜時間帯:4時~7時、22時~25時 昼間時間帯:7時~22時

※インターホンでの通話中、呼出中または機能停止中には、案内を停止する。

【案内文言】

「構外側インターホンはこちらです」(男声)

「構内側インターホンはこちらです」(女声)

手話通訳の通話サービスアプリ(西武鉄道)



QRコードによる情報提供のポスター（東武鉄道）

東武線

運行情報 乗換運賃 時刻表

のご案内

スマートフォンで東武線の情報をご覧いただけます。

特急券チケットレスサービスや運行情報メールがご利用いただけます。

東武線アプリ 東武急行運行情報 乗換運賃検索 時刻表検索 東武ネット会員サービス

東武鉄道株式会社